

2023年2月7日付

(株) ナガホリによるプレスリリースに関する当社の対応方針

株式会社ナガホリ（以下「ナガホリ」といいます。）より、2023年2月7日付「臨時株主総会開催及び株主提案に対する当社取締役会の意見に関するお知らせ」と題するリリース（以下「本件リリース」といいます。）が開示されました。

本件リリースでは、ナガホリが2023年3月16日に臨時株主総会（以下「本件総会」といいます。）を開催予定であることのほか、当社側とナガホリ側との面談について、「提案株主は、当社代表取締役と提案株主の代表者のみの1対1の面談に固執し、また、会場についても、提案株主の希望を汲み取り当社が当初提案した当社本社での開催から譲歩して、中間案として、当社以外の会議室での開催を提示したにも拘らず、提案株主本社での開催に固執する等、合理的な理由なく当社役員と提案株主の代表者を含めた取締役候補者との面談の打診に応じなかったことから、当該面談は実現に至りませんでした。」「不合理に頑なに、自らの適格性に関する説明を拒み続けるとしか解釈できない態度」など、当社が一方的に面談を拒否したかのような記載がされております。

しかし、ナガホリ側が主張する「中間案」は、ナガホリの本社に近接した施設の会議室を面談場所として提案するのみであり、「譲歩」をしたとは到底言えないものでした。また、従前から当社代表者や本件総会の役員候補者に誹謗中傷を繰り返すナガホリ側の提案に従って面談を行えば、当社側の発言が闇雲に揚げ足を取られることは明白でした。

そこで、当社から、公正かつ適正な協議を実現すべく、代表者である長堀慶太氏と当社代表者である尾端友成による1対1の協議を申し入れましたが、ナガホリ側は、協議自体を拒絶してきました。

以上のように、ナガホリは、本件リリースを通じて、従前と同様、印象操作のために虚偽の事実をあたかも真実のように公表し続けております。したがって、当社としては、ナガホリによるこのような印象操作に対して厳粛に対応し、ナガホリのみならず、そのような意思決定に関与しているナガホリの役員全員に対して責任を追及していく所存です。

2023年2月8日

リ・ジェネレーション株式会社

代表取締役 尾端友成